

聖書箇所:マタイの福音書27章32節

「十字架を負う」

【1】 無理やりに背負わされた十字架

- ・クレネ人シモン
 - ー北アフリカのリビアの海岸都市クレネの出身
 - ーエルサレムから 1300 キロの距離
 - ー過越の祭りに合わせた巡礼の旅の途中であったか(参照使徒 2:10)
- ・無理やりにイエスの十字架を背負わされたシモン(マタイ 27:32)
 - ー本来は罪人が背負うべき十字架
 - ー疲労で十字架を背負えなくなったイエスの代わりとしてローマ兵が徴用
- ・シモンの困惑と怒り

【2】 十字架を背負うことを通して

- ・シモンのその後
 - ーシモンについて「アレクサンドロとルフォスの父」(マルコ 15:21)と記録
 - ーシモンの息子たちアレクサンドロとルフォスが後に初代教会でよく知られる人物となったことが推察できる(ローマ 16:13)
 - ▶十字架を背負ったシモンがそのまま姿を消したとは考えにくい
- ・困惑と怒りから喜びと感謝へ
 - ー誰よりも近い距離でイエスと共にゴルゴタの丘に向かったシモン
 - ーイエスの十字架の意味ー神の愛ーを知り、溢れたであろう喜びと感謝

【3】 イエスがご自分の弟子に求めたこと

- ・「奉仕」(ディアコニア)とは
 - ー他の人の必要を満たすために仕える・手伝う・自分を捧げる
 - ー模範を示された主イエス
 - 自己犠牲ー仕えるために…いのちを与えるために来た(マタイ 20:28)
 - 謙遜ー互いに足を洗い合うように(ヨハネ 13:3~17)

▷今日この場に集まっている私たちが神の愛を知る者とされたのも、身近な場所で謙遜に仕えていた奉仕者の存在を通してではなかったでしょうか。私たちも自分の意思や計画をこえた奉仕に導かれることがあります。キリストの愛に答えて、隣人に仕える時、あなたの存在を通してキリストの愛があらわされていくのです。

